

あなたの声をお寄せください

ご意見、ご感想、ご要望など「あなたの声」をお寄せください。

皆様から頂戴したご意見等は、ご本人様のご了承を得た上で、内容に応じてご紹介させていただきます。

財産管理

三沢市は、スポーツについては、施設も整備され活発に活動が行われているが、芸術文化については、寺山修司記念館があるもののあまり芸術作品に触れる機会が少なく人材が育っていない。

ぜひ、多くの市民に美術作品を鑑賞し、関心を持ってもらい、三沢市民の中から芸術活動に貢献できる人材の育成に役立てて頂きたいとの趣旨から、平成9年6月に三沢市出身の彫刻家であり画家である柳沢俊男氏が絵画



を寄贈しています。寄贈当初は、公会堂の入口正面に展示されていたものが、いつの間にか人目につかないところに押しやられて

寄贈者の善意を踏みにじる行為であると感じている。絵画とはい

え市民の財産である。ほかにも市民の財産がおろそかに管理されている物が有るのではないかと不安を感じて

いる一人である。

茹でガエル

茹でガエルとはご承知のとおり、カエルを熱いお湯の中に入れると驚いて飛び出します

が、水に入れて徐々に熱すると、カエルはそ

の温度変化に慣れていき、生命の危機と気づかないうちにゆであがって死んでしまうという話です。

三沢市の現状を一市民としてみれば、行政当局に危機感をほとんど感じられなく、市民に夢や希望を与えてくれるような施策も見当たらないなど、このまま過ぎていけば気がつ

いたときは、手遅れで茹でガエル状態となりかねないおそれがあります。

3月末で四万人以下になった人口の流出等による人口減、予防医療の取組み不足、企業誘致、三沢空港利用の低迷、新幹線七戸和田駅開業により三沢駅

鈴木しげまさ通信

発行人 鈴木重正
三沢市松園町1-11-3
TEL0176-53-2409
第003号

現状維持では後退する

新聞報道された県内市町村ふるさと納税16年度予想の記事を読んだ、なんだかとても寂しい気持ちになった。

県内十市の中で三沢市は、2015年度の実績最下位。2016年度の予想では、最も多いのが青森市で約2億2千万円、平川市が2億円、むつ市が1億

円と続き、三沢市は最下位の3百万円となっている。また、隣のおいらせ町と比べてもその五分の一である。

気になってその取組について調べてみると、総務省のふるさと納税ポータルサイトに掲載されている「ふるさと納税現況調査（平成27年9月30日現在）」に

よれば、三沢市は、ふるさと納税を募集する際に工夫している取組は「特にない」としている。

防衛省の補助事業で約50億円もの国際交流スポーツセンターや道路整備など多くの事業を実施できる自治体だからふるさと納税には

力を入れる必要がないということなのだろう。か。それとも、三沢をPRして収入を少しでも増やしていく何か別の考えを持っているというのだろうか？

2008年度から始まったふるさと納税であるが、飛躍的に寄付額を伸ばしている自治体にはシティプロモーション戦略の一つとして首長が積極的に取り組んだところが多いと聞いている。最近では返礼品競争の過熱化などの問題点も指摘されて

いる他自治体の記事が新聞等で報道されておりますが、残念ながら三沢市の事例はほとんどない状況です。

平成30年度から新たな総合振興計画が実施されるようですが、厳しい現状を認識し行政・市民が一体となり取り組めるような実効性のある計画にしてみたいものです。茹でガエルにならないために。（三沢市 ガマガエル）

友との語り、

先日久しぶりに長年親しくしていた友と会った。趣味や家族のこと、特に、鈴木市長の話に花が咲いた。鈴木市長を一言で表すと【人には優しく自分に厳しく】をモットーにしていた。

飛行騒音や米軍人のトラブルも市民のためにと一歩も引かず国と堂々と渡り合った。また、市政においても、市民本位をつらぬき政策や議論の場、市議会

などではいつも凛として頼もしい人であった。今は懐かしく緊張感のある良き時代を過ごしたことを思いだし、杯を酌み交わした。

宴も半ばに、『しげまさ通信』が話題になり、我々がお世話になった、前鈴木市長の遺伝子を持つ息子が、一生懸命に頑張っている。この努力に、何とか報えてやろうと意気投合して盛りあがり、あつと言う間に時間が過ぎ

てしまった。貴方に沢山のファンがいることを伝えたくて、投稿しました。（三沢市 しげまさ応援隊）

北朝鮮ミサイル

平成29年6月1日の東奥日報に、北朝鮮の3週連続の弾道ミサイル発射に対する三沢市長の考え方として、「どこに飛んで来るかわからないから、対応の仕方が分からない」だから、対策を打ち出すのは困難であり、発

射された場合には国の指導に従うしかない、との記事が掲載されていた。

確かにそうかもしれない、ただこれまで三沢市は基地との共存共栄を掲げ、米軍や国に対して可能な限り協力をしてきた。

今、北朝鮮の標的とされているなら、国に強力に働きかけ、情報の共有や具体的な対応を国から導き出し三沢市民を安心させる言葉があつてしかるべきだ

と思う。仕方がないや云うがままの市長では市民は安心できないと思う。（三沢市 三沢の安全を考える市民代表）

三沢市は、スポーツについては、施設も整備され活発に活動が行われているが、芸術文化については、寺山修司記念館があるもののあまり芸術作品に触れる機会が少なく人材が育っていない。

ぜひ、多くの市民に美術作品を鑑賞し、関心を持ってもらい、三沢市民の中から芸術活動に貢献できる人材の育成に役立てて頂きたいとの趣旨から、平成9年6月に三沢市出身の彫刻家であり画家である柳沢俊男氏が絵画

を寄贈しています。寄贈当初は、公会堂の入口正面に展示されていたものが、いつの間にか人目につかないところに押しやられて

『ディズニールランド』はいつまでも未完成である。現状維持では後退するばかりである』『ウォルト・ディズニールの名言として有名であり、多くの経営者や識者が口にしてるが、「ディズニールランド」を「まち」に置き換えてもしかりである。

ふるさと納税への取組を一例としてあげたが、時代は流れ絶えず、環境は変化しており、その変化にあわせて対応していかなければ「まち」も衰退していく。今日よりも明日、明日よりも明後日、どうすれば少しでも住民の生活を良くしていくことができるのか、地域を良くしていくことができるのか、短期的、中長期的な二つの目線から常に今より向上することを考えて、三沢市の目指しているところを積極的に情報発信して、果敢に新たなことに挑戦していかなければならない。現状維持では後退するばかりであるのだから。



未来への挑戦 そして責任

あなたの声をお寄せください

FAX : 0176-58-7355

ホームページ

<http://www.suzukishigemasa.com/>

(討議資料)



スポーツで元気に！

フィギュアスケート整

アルペールビル冬季五輪フィギュアスケート女子銀メダリスト、女子選手として世界初のトリプルアクセルを成功させたあのジャンプの「伊藤みどり」さんを講師に招いてのフィギュアスケート教室が平成29年4月30日、三沢市アイスアリーナで開催され観覧しました。本教室は、三沢市スケート協会（堤喜一郎会長）により創設40周年記念事業として企画・開催されたものです。

笑顔を決やさず、分かります。丁寧で情熱的な伊藤みどりさんの指導。参加者はお子さんから大人まで、笑顔と真剣なまなざしで氷上を滑るその姿に、自分には出来もしないのにスケーターになったつもりで見入っていました。参加者には確実にフィギュアスケートの楽しさが伝わり、銀メダリストの伊藤みどりさんから学んだということが自信につながったことでしょう。本当に素晴らしい、感動的な教室でした。

「いつかこのリンクから、世界で活躍する選手を誕生させたいという夢がある」と開会セレモニーの中で堤会長が挨拶されていました。だが、近い将来夢叶う

◆

タイムングが合い、厚かましくもマンツーマンでレッスンしていただきました。

◆ トレーニング不足につきショートバージョンでお願いしましたが、それでも息が上がりハアハアゼゼ汗だくです。これからは、通常バージョンのレッスンをこなすことができるように精進したいと思っています。

◆

この5月には、J-NEWWORKライトヘビー級次期王者挑戦者決定トーナメントを勝ち抜いているK1ファイター・藤田智也選手（K1ジムEBISU小比類巻道場）が三沢に来られて、お互いの

地域と共に！

春のクリーン大作戦

平成29年4月16日、三沢市春のクリーン大作戦が行われました。所属する三沢東ロータリークラブでは、サークルK浜三沢店から三沢市墓地公園までの道路沿いのごみ拾い。予想以上にごみが多く、特に空き缶・空き瓶、ペットボトルやビニール・プラ系のごみが多かったです。松園町1丁目町内会では松園公園での清掃活動を実施。遠藤町内



会長を始め、多くの会員の皆さんが参加して、公園内での松の落ち葉拾いに汗を流しました。なんと、4トントラック2台分の落ち葉を拾いました。皆さん、お疲れ様でした。

お花見



北国三沢に春が訪れ桜の季節を迎えて、恒例となったお花見会を今年も皆さんのご協力をいただき4月29日に開くことができました。ご参加頂いた皆さん、

活かしていくかということが大切なことだと改めて感じた一日となりました。

三沢市スケート協会の創設40周年誠にありがとうございます。皆様のおかげでこの尽力に心から敬意を表します。ありがとうございます。



平成29年4月15日・16日、「第19回三沢東ロータリークラブ杯争奪 青森県チビッコアイスホッケーリーグ大会」が三沢アイスアリーナで開催され、開会式・閉会式に出席しました。

◆ 本大会は、三沢東ロータリークラブの創立15



藤田選手と一緒に！

ト、フィットネスなどを目的とした会員も多くて、ミットやサンドバッグにパンチやキックを打ち込みストレス解消にもなり、楽しく充実した時間を過ごすことができる場所です。

◆ 三沢を格闘技で盛り上げて、地元貢献できる人材を育てたい。「格闘技のまち」を目指したい。との熱い想いを持っている小比類



チビッコアイスホッケーリーグ大会

周年記念事業として「あたたかいふれあいから夢を育てよう」子供達とともにのスローガンのもとに、子供達の健全育成を願って開催することになったもので、新小学4年生以下の選手を対象にした大会です。

◆ 今年は、地元青森県内から三沢・八戸・青森・ふくち、岩手県・戸市、宮城県仙台市からの合計13チームが参加。2日間にわたってチビッコ達が氷上で熱い戦いを繰り広げました。



子ども達の熱戦の様子！！

校の季節になると以前ある人から聞いたこんな言葉を思い出します。「春の象徴である桜は、咲き誇る姿の美しさ、ぱっと散る散り際の潔さが素晴らしい。加えて北国の桜には、冬の厳しい寒さや雪の重さに耐え忍んで力を蓄えて花開く時を待つという力強さがある。」：北国の桜のようにありたいものです。

みどりの日

今日は天気も良かったので妻とチューリップ畑へ、目指すは新聞で見た五戸町の「正子のチューリップ園」。チューリップの花言葉は「思いやり」。赤、白、黄色、オレンジ、ピンク：色とりどりたくさんの「思いやり」に囲まれて心穏やかに過ごした平成29年5月4日みどりの日です。



地方活性化

6月15日、「三沢の未来を創るわこうどの会」（附田久志会長）



講演のテーマは、「地方の活性化とマーケティング」。いかにして地域内で経済を循環させていくか！地方活性化のキーワードは「食」「観光」「エネルギー」！先進事例を交えて分かりやすくかつ濃密な内容で、これからの地域づくり・人づくりに大きな気づきを得ることができた大変有意義な講演会でした。